

流通ビジネス系列（3年）休業中の課題

※仕訳の解答はノートに書いて、提出すること。

【1】 つぎの取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- (1)香川商店から商品¥70,000を仕入れ、代金は現金で支払った。
- (2)高知商店から仕入れた商品のうち、¥8,000分は品質不良のため返品した。
なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。
- (3)徳島商店から仕入れた商品について¥1,500の値引きをうけ、この代金は買掛金から差し引くことにした。
- (4)商品¥25,000を売り上げ、代金は現金で受け取った。
- (5)大分商店に商品¥160,000を掛けで売り渡した。なお、発送費¥2,500は現金で支払った。
- (6)北見商店に売り渡した商品のうち、品質不良のため¥7,000分の返品があった。
なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。
- (7)長野商店に買掛金の一部¥200,000を、小切手を振り出して支払った。
- (8)秋田商店に商品¥170,000を売り渡し代金は同店振り出し当座の約束手形を受け取った。
- (9)青森商店から受け取っていた約束手形¥200,000を、取引銀行で割引き、割引料を差し引かれた手取金¥197,500は当座預金とした。
- (10)函館商店に商品¥300,000を売り渡し、代金のうち¥250,000は同店振り出し、当座の約束手形で受け取り、残額は掛けとした。
- (11)兵庫商店から商品¥680,000を仕入れ、代金のうち¥250,000は、さきに得意先和歌山商店から受け取っていた約束手形を裏書譲渡して、残額は掛けとした。
- (12)群馬商店あてに振り出した約束手形¥220,000が満期となり、当店の当座預金から支払ったむね、取引銀行から通知を受けた。
- (13)赤嶺商店から商品¥220,000を仕入れ、代金は同店あての約束手形を振り出して支払った。
- (14)赤嶺商店あてに振り出した約束手形¥220,000が本日満期となり、当店の当座預金口座から支払ったむね、取引銀行から通知を受けた。
- (15)売買目的で高知物産株式会社の株式10株を1株につき¥62,000で買入れ、代金は買入手数料¥8,000とともに現金で支払った。
- (16)売買目的で保有している滋賀商事株式会社の株式20株（1株の帳簿価額¥65,000）を1株につき¥70,000で売却し、代金は現金で受け取った。
- (17)額面¥200,000の国債を額面¥100につき¥96で買入れ代金は小切手を振り出して支払った。
- (18)額面¥1,000,000（1株の帳簿価額¥96）の国債を額面¥100につき¥98で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- (19)営業用金庫¥340,000を買入れ、代金は現金で支払った。
- (20)愛知商店に帳簿価額¥300,000の備品を¥340,000で売却し、代金は同店振り出しの小切手で受け取った。
- (21)福岡商店に現金¥300,000を借用証書によって貸し付けた。
- (22)福岡商店に借用証書によって貸し付けていた¥300,000と、その利息¥29,000とともに、同店振り出しの小切手で受け取った。
- (23)大分商店から現金¥700,000を借用証書によって借り入れた。

- (24)大分商店から借用証書によって¥700,000借り入れていたが、利息¥7,000とともに、小切手を振り出して支払った。
- (25)博多商店に商品¥300,000を注文し、内金として¥30,000を現金で支払った。
- (26)博多商店から商品¥300,000を仕入れ、代金のうち¥30,000はさきに支払ってある内金¥30,000を差し引き、残額は掛けとした。
- (27)福岡商店から商品¥500,000の注文をうけ、内金として¥150,000を現金で受け取った。
- (28)福岡商店に商品¥500,000を売り渡し、代金は前受金¥150,000を差し引き残額は掛けとした
- (29)従業員の出張にさいし、旅費の概算額¥50,000を現金で支払った。
- (30)従業員が出張から帰り、仮払いした¥50,000から旅費¥48,000を差し引いた残額を現金で受け取った。
- (31)出張中の従業員から、送金小切手¥70,000が送られてきたが、送金内容は不明である。
- (32)出張中の従業員から内容不明で受け入れた送金額¥70,000は、得意先からの手数料の受け入れであるとの通知があった。
- (33)古雑誌を売却し、代金¥3,000は月末に受け取ることにした。
- (34)未収金¥3,000を現金で受け取った。
- (35)事務用のコピー機¥700,000を購入し、代金は月末に支払うことにした。
- (36)未払金¥700,000を小切手を振り出して支払った。
- (37)本月分の給料¥180,000のうち所得税¥4,000を差し引いて、残額は現金で支払った。
- (38)本月分の給料¥220,000のうち従業員立替金¥35,000を差し引いて、残額は現金で支払った。
- (39)商品券¥200,000を発行し、代金は現金で受け取った。
- (40)商品¥25,000を売り渡し、代金のうち¥20,000は商品券で受け取り残額は現金で受け取った
- (41)山形商店から、売掛金¥200,000を送金小切手で受け取った。
- (42)大森商店に、買掛金¥70,000を現金で支払った。
- (43)本月分の給料¥180,000を現金で支払った。
- (44)高知商店から売掛金¥200,000を同店振り出しの小切手#59で受け取った。
- (45)電話料金¥7,000を現金で支払った。
- (46)現金の実際有高を調べたところ、帳簿残高より¥25,000不足していた。
- (47)現金の実際有高を調べたところ、実際有高が帳簿残高より¥3,000多かったので、帳簿残高を修正してその原因を調査することにした。
- (48)かねて調査中であった現金不足額のうち¥18,000は、消耗品費の記帳もれであることが判明した。
- (49)かねて調査中であった現金過剰額のうち¥12,000は、受取地代の記帳もれであることが判明した。
- (50)かねて調査中であった現金過剰額のうち¥1,000は、決算日になっても、その原因が不明なので、雑益とした。